

#### 第84回メーデー宣言(案)

本日、第84回メーデーは、22年間に亘り果敢に闘いぬいてきた南労会闘争が3月11日裁判所での和解により解決した。困難な闘いを勝ち抜いた支部組合員に心から敬意を表すると共に、闘いを支えてきた港合同組合員全員で勝利を喜び確認するメーデーとなった。

同時に和歌山県田辺市の田辺運送が自己破産を申立て、港合同田辺運送ユニオン分会が闘争を続けてきたが、この程、労働債権を確保して破産終結に向けて大詰め段階を迎えている。職場を占拠し、資本の身勝手な倒産攻撃にあらためて「団結こそ命、闘いこそ力」ということに自信を持ち、更に労働者として誇りをもち前進することを確認しよう。

昨年12月、野田政権は突然、衆議院を解散し総選挙を実施した。国民は民主党にNOを突きつけた。大きな期待を寄せた3年3ヶ月間の政権時、港合同も様々な要望も含め、何人かの国会議員に問題提起してきたが一度も実現することがなかった。

民主党政権の課程で発生した福島第一原発事故処理はいまだに収束のメドは立っていない。にもかかわらず政府は原発の再稼働と海外輸出を企て、電力会社は原発の再稼働に躍りになっている。

私たちは福島第一原発の事故によって、「核と人類は共存できない」との教訓を得た。現に、福島第一原発では、事故から2年が過ぎた今も、放射性物質の大量放出と、敷地内での高い放射線量に包まれて、収束作業に差しさわりをきたしている。さらに原発で増え続ける汚染水を保管するための地下貯水槽から汚染水が大量に漏れ出していることが発覚し「収束」どころか、事故被害はさらに拡大を続けている。廃炉まで40年間という途方もない歳月を手探りでやっているのが事故の実態である。私たちは「人類の未来のために原発はいらない！」とのスローガンを改めて確認し、全ての原発の廃炉に向けて闘いに立ち上がろう。

第2次安倍政権から5カ月、アベノミクスなどという大胆な金融緩和政策は、労働者にとっては「賃金破壊」「雇用破壊」とインフレによる生活破壊しかもたらさず、一部の金持ちや投資家、輸出企業だけが潤っているだけにすぎない。さらに安倍政権は、参議院選挙で3分の2の「改憲勢力」を日本維新の会などと連携して形成し、「憲法改正」への流れをつくろうとしている。

大阪市における「職員アンケート問題」は、労働委員会で不当労働行為であるとの救済命令が出されたが、橋下市長は中労委に再審査の申立を行った。

港合同は一貫して官民連帯・地域共闘を掲げ南大阪地域で活動を展開してきた。とりわけ大阪市の職員にかけられた団結権破壊の攻撃は、単に大阪市の労働組合を弱体化し破壊するだけではなく、広く民間組合に波及する重大な権利侵害である。だからこそ大和田事務局長が昨年3月9日、病の中、力を振り絞って訴えた「団結権とは如何なるものか」の指針を実践し、橋下市長の団結権破壊攻撃を許すな！の声を地域や職場に浸透させなければならない。

港合同は、本メーデーを期して、労働者への権利侵害、団結破壊を許さず、反戦・反基地・反原発の闘いを推し進め、闘う労働運動の復権に向け奮闘していくものである。

第84回港地域メーデーの名において宣言する。

2013年5月1日

第84回港地域メーデー参加者一同